

こんにちは! かさもと俊也です!



たまげなす初出荷
(6月:長門市仙崎大泊 北下農園にて)

こんにちは!かさもと俊也です!県政レポート

[vol.1] 2012年9月1日発行



山口県議会初登壇

現場主義に
立つて県政
に提言して
来たいと思
います。

山本俊也

山口県議会議員

昨年12月、長門市選出の県議会議員として、初当選をさせていただきました。かさもと俊也です。

これからの山口県づくりに向かって議員活動を始めていただき、半年余りが経過しました。皆様方にはその間、県内、市内、様々な場面でお世話になり、深く感謝を申し上げます。今後は、地域の代表であるという自覚はもちろん、責任を持って職務を全うしてまいります。

1月4日に初登壇後、県議会においては農林水産委員会に所属して、特に県の一次産業の抱える問題と向き合いながら、日々活動をさせていたいただいております。一次産業は、商工会議所時代、生産者の皆様にご指導いただいた分、産物の販路拡大を手伝わせていただいた分、また、それ以上に政策課題が多い分、大変やりがいのある委員会です。若さとして行動力、どこへでも積極的に出掛け、現場主義に立つて県政に提言して来たいと思

まいます。

県議会には農林水産も含め、7つの委員会があります。土木、商工、観光、教育、医療、福祉等々、これからの県づくりについては様々な観点がありますが、どの観点も新しい動きを起こす原動力は「県民力・地域力」だと、日々の活動を通じて常々感じています。自分一人が良くしたい思いで行動すると、良くしたい思いの方々と一緒に行動するのは、結果を出さずには大きな時間差が生じます。地域火急の課題に迅速に対処していくため、これからも皆様のご指導、ご鞭撻、そしてご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私は県議会6月定例会において初の一般質問をいたしました。二井知事にとって最後の定例会となる今回これからの北浦地域再生へ、自分なりに郷土への思いを詰め込んで質問いたしました。今回第一号となる質問レポートでは、皆様にその内容をご報告申し上げます。

地域の願いを県政に! いつも全力疾走!

かさもと俊也の \元気ハツラツ写真レポート!

- 1月** 標識設置に関する現地要望調査
三隅飯井地区の道路案内標識設置の要望を伺う。
- 1月** 道路整備に関する現地調査
仙崎大泊地区より水研地区周辺の道路整備に関する要望。住民に真の対応を説明。
- 2月** 中山間地域振興特別委員会県内視察
油谷角山地区の「山椒見守り隊」を視察。老々見守り体制の現実を伺う。
- 2月** 地下水位制御システム [FOEAS] 視察
油谷河原地区。担い手不足による地域組織化、田畑転換等農業効率化を目指す。
- 2月** 2012スーパーマーケットトレードショー視察
熊産品販路拡大に向け、県から30社、長門から5社が出展し、展示・試食会・懇談を実施。
- 3月** 鳥取県八雲町の「大江ノ郷自然牧場」視察
訪牧場視察を含み、品質の良い卵を生産・加工して全国展開へ。小原社長(中央)と地元産卵農家(右)と。
- 3月** 金子みずゝの朗読「こたまでようか」参加
金子みずゝさんの詩を24時間連続。512編完結の様子はインターネットで全世界へ配信された。
- 4月** キジハタ種苗生産施設竣工式
阿武町奈古にある県外海殖二載培漁業センター内に完成。
- 5月** 滝が浴ため池パトロール視察
油谷龜田地区。市内にも約2,000箇所あるため池のうち「危険ため池」14カ所を点検。
- 5月** 農林水産委員会県内視察
熊毛北高校、長門新報社、熊毛産物センター、宇野町産物センター等を視察。
- 5月** 四国行政視察
先導員と共に、从白ちまぼり、西予市三郷町海、いなほ園、西土佐町「ソコデザイン」等視察。
- 5月** 全国植樹祭参加
山口きらら浜にて開催。海辺で行われる植樹祭は全国初!
- 5月** 山陰自動車道下関長門開成同盟会参加
山陰の将来のため、今後も長門一帯開成工の早期実現を強く要望。
- 6月** 議員活動報告
長門の明日を学ぶ「長明」にて、議員活動報告と6月定例会一般質問に対する思いを話す。
- 6月** ダイビングによる海底清掃実施
海岸清掃に続き、毎年推定5,000人のダイバーが訪れる青森島の海底清掃に参加。
- 6月** 6月定例会にて一般質問
初めての一般質問終了後、傍聴に来られた長門の皆様と知事室と一緒に撮影。
- 7月** 仙崎新市場竣工式
北浦の高品質な海の幸を全国に発信する起爆剤としての役割を期待。
- 8月** 植樹樹保護手入運動に参加
会場のお山地区金川ジャクナ園は今年3万本目の植樹を達成。草刈り作業に参加。
- 8月** 青海島岩牡蠣育成会視察
県の漁業経営体育成事業として、つくり育てる漁業を実践。

こんにちは!かさもと俊也です!県政レポート

[vol.1] 2012年9月1日発行

発行:かさもと俊也事務所

住所 〒759-4101
長門市東深川2542-3 レインボービル1階
TEL/FAX 0837-22-5226
HP かさもと俊也ブログ
http://ameblo.jp/kasamotoshiya/
kasamotoshiya@gmail.com

県政に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せください!



なぜ観光客が長門市に来るのか?とある市民の方から聞かれ、長門地域の観光の核となっているもの何だろうか?と改めて考えました...

知人達に聞くと、大半の答えは綺麗な海や景色、美味しい海産物、合わせて温泉でした。綺麗な海や海産物を一体的に売り込めたら、周辺の温泉地や観光地は潤うという意見です。

そのために何から何処から進めていけば良いのか...そんなふるさと観光プランを知人達と共に考え続けている今日この頃です...



山口県議会 6月定例会 笠本俊也 一般質問要約

県議会 6/29 の録音中継は
下記からご覧いただけます
<http://bit.ly/U394jy>

質問① 道路行政について

道路は、人物、情報、文化などの交流に不可欠なインフラであり、地域の豊かな一次資源や、様々な観光資源を活かした自立発展を推進するために重要な社会資本である。

とりわけ北部九州の経済圏は、各種産業のメインターゲットであり、双方を連絡する幹線道路が不可欠な存在であるが、現状は極めて脆弱な状況にある。

長門・下関間が規格道路で直結すれば、こうした課題が解決できることから、その早期整備は喫緊の課題である。このためには、俄山・下関間の早期事業化が必要であり、また、長門・下関間全線開通による中国道と結ぶ高速道路ネットワークの構築を住民は強く希望している。今後の山陽道整備では、ルート選定やインターチェンジ設置など、周辺道路との連携を図ることも重要と考えるが、山陽道を中心とする県北西部地域の道路網の整備について、今後、どのように進めるのか、伺う。

答弁 二井 関成 県知事

私は特に、山陽道の建設促進については、知事就任以来日目で、自ら先頭に立つて国に要望し、高速道路ネットワークの構築に積極的に取り組んできた。その結果、昨年、萩、三門道路が全線開通。また今年度から、長門・俄山道路についても、有効活用を努めてきた。今後とも、地域のニーズや実情に応じ、地域再生計画に基づき既存施設の利活用等、市町の取組が進むよう、指導・助言を行い、「高齢者支援施設」の確保に努める。

質問④ 6次産業化の推進について

6次産業化によって育成される新産業は、1次産業を再活性化させるばかりか担い手育成に当たっても有効な産業になつていくと考えるが、今後、1次産業の就業率が高い北浦地域においては、地元高校生就職支援の面からも、6次産業化を1次産業再生のキーワードとして、



6次産業化の推進は、過疎化が進む長門市の再生を図る上で、極めて重要な課題であること認識しており、引き続き、その成り行きを注視するとともに、地域で頑張る若者と一緒に汗をかいてまいります。また、この質問の中で、これららの産業の担い手を育成する上、大津津洋高校を主軸とも充実させることが不可欠

6次産業化の推進は、過疎化が進む長門市の再生を図る上で、極めて重要な課題であること認識しており、引き続き、その成り行きを注視するとともに、地域で頑張る若者と一緒に汗をかいてまいります。また、この質問の中で、これららの産業の担い手を育成する上、大津津洋高校を主軸とも充実させることが不可欠

質問② 高齢者に対する生活支援の充実強化について

本県では超高齢社会が現実のものとなりつつあり、高齢独居世帯等の急増は深刻な社会問題である。介護老人福祉施設は全く不足し、地域包括ケアシステムのもとで居宅介護が重視されてくが、俄山などの中山間地域では充実した福祉サービスを提供しているのか心配する声もある。福祉社会での見守り活動など本県独自の取組は評価するが、見守り活動を支える次の担い手の確保などを含めた生活支援の充実強化について、今から対策を講じるべきではないか。地域に専ら高齢者の希望に合った生活支援について、これまでどのように取り組んで来たのか、また今後、地域の抱える課題や実情に合わせ、どのように充実強化していくのか、伺う。

答弁 渡邊 健康福祉部長

高齢者に対する生活支援の充実強化について、県ではこれまで、市町との適切な役割分担の下、社協を中心とした「福祉の輪づくり運動」等を通じ、支え合いの取組や交流拠点整備、移動手段確保の取組等、積極的に支援してきた。

一方、中山間地域を中心に高齢者の生活を支えるサービス確保、見守り・支え合い活動の担い手の確保等の課題が生じている。こうした課題に対して、市町等の取組を支援し、福祉車両の購入等を支援するとともに、今年度新たに、県社

質問③ つくり育てる漁業の振興について

本県の漁業生産量は、減少の一途を辿り、各漁協、漁業関係者とも今や大変厳しい状況に直面している。こうした中で、県では平成15年から、キジハタの種苗生産技術開発に取り組み、平成20年には全国に先駆けて種苗の高密度生産を安定的に行う技術を確立された。キジハタの放流技術の更なる確立、沿岸部の漁船整備や磯焼け対策等により、漁業者の新たな所得確保策につながることを期待している。

また、長門地区の若牡蠣養殖をはじめ、県内各地区の養殖や資源育成に対し、県の支援が継続している。こうした事業に今後も引き続き力を入れたい。また、つくり育てる漁業の振興について、県では、どのような取組を進めているのか、伺う。

答弁 北野 農林水産部長

県では、栽培漁業センターで、トラフグやアワビなど11種類の種苗を生産し、漁業者が行う種苗放流を支援するとともに、ここ10年間で131箇所の藻場や魚礁等も整備し、水産資源の回復や生産力向上に努めてきた。その結果、トラフグやヒラメは、漁獲量の3割程度を放流魚が占める等、その効果が現れたため、本年度からは、近隣県との連携強化やより効率的に資源の造成を進めていく。

キジハタについては、漁業者の強い要望を踏まえ、本年3月に全国初となる専用に種苗を生産する工場を10万尾の生産に向けて本格稼働を始めたところ。本年度中には、漁獲実態調査や生熊調査等



協に「見守り活動支援センター」を設置。当センターにおいて、一人暮らしの高齢者等を支える活動やボランティアのネットワークの核となる人材養成を行なう等、地域の取組をサポートする体制を一層強化していく。

生活の担い手確保については、市町等が中心となって郵便や宅配、ガス、水道事業者等による協力を確保するとともに、県としては地域のボランティア等を対象としたセミナーの開催や住民向けの啓発活動に対して支援する。

答弁 渡邊 健康福祉部長

高齢化の進行する中、県では、地域のニーズも踏まえながら、在宅サービスと施設サービスのバランスにも配慮し、介護保険の運営主体である市町と協議・調整の上、デイサービスセンターの年間利用見込者数や、特需等の必要定員総数などを定めた。県としては、この数値に基づき、「高齢者支援施設」の整備を支援していく。また、これまで地域で利用していた施設を、「高齢者支援施設」として活用することは、地域の高齢者にとっては住み慣れた地域でサービスを受けられ、かつ、地域の社会資源の有効活用となることから、その取組を進める必要があると考えている。

県としては、これまで、廃校となった学校施設などの未利用の県有財産については、市町等へ取得希望の有無を照会するなど、その活用を働きか

質問③ 高齢者支援施設の確保について

高齢者の生活支援体制の整備といったソフト対策と合わせて、デイサービスセンターや特別養護老人ホームなど、高齢者の日々の生活を支える場、ハードを確保することも重要。また、施設の確保については、未利用となった行政の有する

質問⑥ 県民活動の更なる活性化について

水産業の振興や漁業者の所得安定のためには、つくり育てる漁業の振興がキーワードとなると考えます。仙崎の山口県水産研究センターの有するワハワも十分に活用しながら、県・市・県民団体が一体となった取組が進められるよう、注視してまいります。

さらば博、国民文化祭、団体と、二井知事は、県挙げての盛り上がりを醸成しながら、大成功に導かれた。知事の思いが、県民活動を活性化させ、地域力、県民力を高める原動力につながっていく、共感を覚える。新設の山口きらめき財団には、県民活動を下支えできる知恵やノウハウを、新たな血液を注入し、県民の負担に応えていただきたいと思います。県民活動の更なる活性化に向けて、県民活動の更なる活性化に向けて、どのような展望をもつて取り組むのか、伺う。

答弁 門田 環境生活部長

県では、平成13年のきらば博で盛り上がった県民運動を、新しい先駆けにつなげるため、翌年、全国に先駆けて、「県民活動促進条例」を制定し、同時に設立した「やまぐち県民活動きらめき財団」



により、様々な分野の県民活動を支援。国民文化祭、山口国体、山口大会を通じ、県民活動の基盤づくりと活動の活性化に努めてきた。その結果、県民活動団体数が大幅に増加している。

今後は、高齢化が進んでいる本県の特性を踏まえ、シニア層の県民活動の参加機会を拡充するなど、より多くの県民の参加が得られるよう取り組む。また、地域の担い手として期待される県民活動団体の自立的な活動や、中山間地域の活性化等にに向けた行政・企業等との協働の取組を支援し、各地で地域の実情を踏まえた活動が積極的に展開され定着するよう努める。

山口きらめき財団については、県民活動の拠点として、3財団統合による、基礎強化や機能拡充が図られる。更に、その野が大きく広がるよう努める。今後、ジャンボリーなどの成功へとつながるなど、県民活動の一層の促進に取り組む。

長門市においても、子育て支援や森林づくりなど、各地域で様々な活動が生まれていきます。こうした活動の活性化が、「県民主役の県づくり」につながるものと、であり、私も、地域で頑張る皆様と一緒に取り組んでまいります。

県民活動の一層の促進に取り組む。